

# 鶴岡市立鶴岡第五中学校校舎棟第1期大規模改修工事

## 設 計 図

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	non	A-2-6	【既存・撤去】階段詳細図2（南側・B階段）	S=1/10,50	A-5-2	（改修・新設）矩計図（1）	S=1/30
A-01	改修工事特記仕様書（1）	non	A-2-7	【既存・撤去】1階天井伏図	S=1/150	A-5-3	（改修・新設）矩計図（2）	S=1/30
A-02	改修工事特記仕様書（2）	non	A-2-8	【既存・撤去】2階天井伏図	S=1/150	A-5-4	（改修・新設）矩計図（3）	S=1/30
A-03	改修工事特記仕様書（3）	non	A-2-9	【既存・撤去】3階天井伏図	S=1/150	A-5-5	（改修・新設）立面詳細図・エキスパンションジョイント詳細図	S=1/10,50
A-04	改修工事特記仕様書（4）	non	A-3-0	【既存・撤去】1階建具符号図	S=1/200	A-5-6	（改修・新設）階段詳細図1（西側・A階段）	S=1/10,50
A-05	撤去工事特記仕様書	non	A-3-1	【既存・撤去】2階建具符号図	S=1/200	A-5-7	（改修・新設）階段詳細図2（南側・B階段）	S=1/10,50
A-06	建築面積表	S=1/300	A-3-2	【既存・撤去】3階・R階建具符号図	S=1/200	A-5-8	（改修・新設）1階天井伏図	S=1/150
A-07	床面積表	S=1/400	A-3-3	【既存・撤去】建具表（1）	S=1/100	A-5-9	（改修・新設）2階天井伏図	S=1/150
A-08	配置図・附近見取図	S=1/500	A-3-4	【既存・撤去】建具表（2）	S=1/100	A-6-0	（改修・新設）3階天井伏図	S=1/150
A-09	【既存・撤去】外部仕上表	non	A-3-5	【既存・撤去】建具表（3）	S=1/100	A-6-1	（改修・新設）1階建具符号図	S=1/200
A-10	【既存・撤去】内部仕上表（1）	non	A-3-6	【既存・撤去】建具表（4）	S=1/100	A-6-2	（改修・新設）2階建具符号図	S=1/200
A-11	【既存・撤去】内部仕上表（2）	non	A-3-7	【既存・撤去】建具表（5）	S=1/100	A-6-3	（改修・新設）3階・R階建具符号図	S=1/200
A-12	【既存・撤去】内部仕上表（3）	non	A-3-8	【既存・撤去】車寄せ詳細図	S=1/30	A-6-4	（改修・新設）建具表	S=1/100
A-13	【既存・撤去】1階平面図	S=1/200	A-3-9	車寄せ構造図（参考図）	S=1/30,40,100	A-6-5	（改修・新設）車寄せ詳細図	S=1/30
A-14	【既存・撤去】2階平面図	S=1/200	A-4-0	【既存・撤去】外部袖壁外構図（1）	S=1/100,500	A-6-6	（改修・新設）外部袖壁外構図（1）	S=1/100,500
A-15	【既存・撤去】3階・R階平面図	S=1/200	A-4-1	【既存・撤去】外部袖壁外構図（2）	S=1/100,500	A-6-7	（改修・新設）外部袖壁外構図（2）	S=1/100,500
A-16	【既存・撤去】屋根伏図・設備用架台詳細図	S=1/20,40,200	A-4-2	（改修・新設）外部仕上表	non	A-6-8	（既存・改修）西側渡り廊下漏水箇所-1（北） (エキスパンションジョイント) 詳細図	S=1/30,50
A-17	【既存・撤去】立面図（1）	S=1/200	A-4-3	（改修・新設）内部仕上表（1）	non	A-6-9	（既存・改修）西側渡り廊下漏水箇所-2（南） (エキスパンションジョイント) 詳細図	S=1/30,50
A-18	【既存・撤去】立面図（2）・断面図（中庭）	S=1/200	A-4-4	（改修・新設）内部仕上表（2）	non	A-7-0	工期分割図（3工期）	S=1/500
A-19	【外壁クラック】立面図（1）	S=1/200	A-4-5	（改修・新設）内部仕上表（3）	non	A-7-1	仮設計画図	S=1/500,1000
A-20	【外壁クラック】立面図（2）・断面図（中庭）	S=1/200	A-4-6	（改修・新設）1階平面図	S=1/200			
A-21	【既存・撤去】矩計図（1）	S=1/30	A-4-7	（改修・新設）2階平面図	S=1/200			
A-22	【既存・撤去】矩計図（2）	S=1/30	A-4-8	（改修・新設）3階・R階平面図	S=1/200			
A-23	【既存・撤去】矩計図（3）	S=1/30	A-4-9	（改修・新設）屋根伏図・設備用架台詳細図	S=1/20,40,200			
A-24	【既存・撤去】立面詳細図・エキスパンションジョイント詳細図	S=1/10,50	A-5-0	（改修・新設）立面図（1）	S=1/200			
A-25	【既存・撤去】階段詳細図1（西側・A階段）	S=1/10,50	A-5-1	（改修・新設）立面図（2）・断面図（中庭）	S=1/200			

建築改修工事特記仕様書			
I. 工事概要			
1. 工事名 鶴岡市立鶴岡第五中学校校舎棟第1期大規模改修工事			
2. 工事場所 鶴岡市大山字若柳271番地			
3. 用途地域等 指定なし			
4. 主要用途 中学校			
5. 面積 建物敷地面積 15,615 m <sup>2</sup> 建築面積 3,338.56 m <sup>2</sup> 延床面積 6,806.06 m <sup>2</sup>			
6. 工事の概要			
1) 建築工事 一式 ・屋上及びベランダ防水層の全面的な改修（笠木・目地金物等の確認水密機能保全） ・躯体の長寿命化を目的とした外壁改修（外部建具周りシーリング材の再施工） ・外部軒天材、外壁袖壁仕上材及び中庭テラス床仕上材の改修 ・漏水箇所（エキスパンションジョイントの一部・階段ガラスブロック部）の改修 ・既存バネルシャッターの更新 ・車寄せ部の外壁材及び塗装仕上げの改修			
2) 電気設備工事 一式 1) に伴う電気設備に関わる工事一式（取外し再取付等）			
3) 機械設備工事 一式 1) に伴う機械設備に関わる工事一式（取外し再取付等）			
7. 別途工事			
8. その他			
9. 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。 ・構造特記仕様書 ・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書 ○改修工事特記仕様書 ・電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書			
II. 建築工事仕様			
1. 共通仕様 面図及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準共通仕様書（令和7年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。 施工条件明示書は特記仕様書に含める。			
2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。 3) 特記事項に記載のく、（）及び〔〕内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			
章	項目	特記事項	
1	① 一般事項	○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑惑が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 作業体験を現場に掲示すること。 ・工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示	
一般共通事項	② 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版） ・建築工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版） ○ 鶴岡市建設工事元請下請関係適正化指導要領（令和7年度改正） ○ 建築改修工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和7年版）	
3. 概工期	工事工期より	日前	<1.1.2>
4. 工事実績情報（CORINS）の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） 受注時、既に工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後約10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・適用しない		<1.1.4>
5. 発生材の処理等	発生材の処理 ・引渡しを要するもの ○ 特別管理産業廃棄物（アスベスト含有建材レベル3 ・受入れ施設名・所在地（km） ・現場において再利用を図るもの ・再生資源化を図るもの		<1.3.8>
	種類 受入施設名 所在地 (km) 備考	種類 受入施設名 所在地 (km) 備考	
	・コンクリート塊 ・アスファルト ・コンクリート塊 ○ 建設発生木材 ・コンクリートからなる建設資材 ○ 塩化ビニル樹脂系シート防水材 ○ アミ・パル材 ・ガラス ・その他の廃棄物（安定型） ○ ケイ酸ガルバ版 ・ワイヤー環境（株） ○ 石こうボード ・ワイヤー環境（株）	種類 受入施設名 所在地 (km) 備考	
	種類 受入施設名 所在地 (km) 備考	種類 受入施設名 所在地 (km) 備考	
1.	一般共通事項	・その他の廃棄物（管理型） 種類 受入施設名 所在地 (km) 備考	
		上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること	
		PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器 有（数量は図示） [5.4.3] PCB含有シリーリング材 有（施工範囲は図示） [5.4.4]	
		PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。	
		アスベストの処理 吹き付けアスベスト除去工事 有（図示） 無 受け入れ施設名・所在地（km） アスベスト含有保温材除去工事 有（図示） 無 受け入れ施設名・所在地（km） アスベスト成形板除去工事 有（図示） 無 受け入れ施設名・所在地（km）	
		ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理 ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード 有（図示） 無 次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。 <対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏（株） いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード（株） 八戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの 指定する処分場 【名称：】 所在地 (km) ]	
		・適用する ※ 適用しない	<1.3.3>
	⑥ 電気保安		<1.3.10>
	⑦ 事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する日までに監督職員に提出する。	
	⑧ 建築材料等	材料の品質等 ※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。	<1.4.2>
		環境への配慮 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合 該当する建築材料 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤 b. 接着剤不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用	
		9. 室内の空気中の化学物質濃度の測定 ※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド (濃度指針値 100 μg/m <sup>3</sup> 0.08ppm) ※ メタノール (濃度指針値 220 μg/m <sup>3</sup> 0.05ppm) ※ トルエン (濃度指針値 260 μg/m <sup>3</sup> 0.07ppm) ※ イソヘキソノン (濃度指針値 3,800 μg/m <sup>3</sup> 0.88ppm) ※ カリル (濃度指針値 870 μg/m <sup>3</sup> 0.20ppm)	<1.6.9> (1.5.9)
		測定する室等：（） 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 ・測定結果 ・試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日、時間、窓の閉鎖状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数） ・試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡しは受けない。 ・総揮発性有機化合物の測定 測定方法：測定物質及び測定か所等については、末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。	
		※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。	
		「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。	
1.	一般	・その他の廃棄物（管理型） 種類 受入施設名 所在地 (km) 備考	
		上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること	
		11. 建築基準法による風圧力等の指定 通用工事 風速(V0) 34 ・アルミニウム笠木・金属板屋根葺 ・折板屋根葺 ・ガラスブロック ・重量シャッター・軽量シャッター ・オーバーヘッドドア	<3.5.4><3.9.3><5.10～12.2><5.13.5> (13.2.3) (13.3.3)
		12. 設計GL 施工調査 ※ 図示 現状平均地盤高 施工数量調査 調査項目 調査範囲 調査方法 成果品 ・外壁 目視及び打診 報告書2部	<1.5.2>
		14. 技能士 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置すること。 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。 工事種目 技能検定種類（技能検定作業） 以下の該当工事 ①該当する作業がある以下の職種（作業）の全て 仮設工事 ②とび（とび作業） 防水改修工事 ・防水施工 ・アスファルト防水工事 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事 ・アクリルゴム系塗膜防水工事 ・合成ゴム系シート防水工事 ・塗化ビニル系シート防水工事 ・セメント系防水工事 ・シーリング防水工事 ・改質アスファルトシート防水工事 ・FRP防水工事	<1.5.3> <1.6.2> <1.6.3>
		外壁改修工事 ・左官（左官作業）・タイル張り（タイル張り作業） ・樹脂接着剤注入施工（樹脂接着剤注入工事作業） ・塗装（建築塗装作業） 建具改修工事 ・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業） ・自動ドア施工（自動ドア施工作業） 内装改修工事 ・内装仕上施工（・プラスチック系仕上工事作業 ・カーペット系仕上工事作業 ・木質系仕上工事作業 ・ボード仕上工事作業 ・鋼管下地工事作業） ・表装（壁作業） ・塗装（建築塗装作業） 耐震改修工事 ・鉄筋施工（鉄筋組立作業） ・型枠施工（型枠工事作業）・とび（とび作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業） ・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・A L C バネル施工（A L C バネル工事作業） ・A L C バネル施工（A L C バネル工事作業） 石工事 ・石材施工（石張り作業） 排水工事 ・配管（建築配管作業） 舗装工事 ・路面表示施工（・溶融、・シート、マーカー工事作業 ・熱転写、・インクマーカー作業） 植栽工事 ・造園（造園工事作業） 屋根及びとい工事 ・建築板金（内外装板金作業） ・かわらぶき（かわらぶき作業）	
		15. 完成図等 鶴岡市工事引継書類作成・整理要領により作成する。	<1.8.1><1.8.2><1.8.3>
		16. 完成写真 ※ 作成する 鶴岡市工事引継書類作成・整理要領により作成する。 ・作成しない	
		17. 設備工事との取扱い 施工範囲 各工事の区分表による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。	
		18. 火災保険等 工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで	
		19. その他 ・被着体に応じたものとし、表3.7.1を標準とする。 ・表3.7.1によらない箇所及びシーリング材料 ・表3.7.1によらない箇所 シーリング材料	<3.7.2> (表3.7.1)
		20. と い 材種 防露 ・配管用鋼管（S G P） ※ <表3.8.3～4>により行う ・硬質塩化ビニル管（V P） 特記無限り既存のとい受け金物を使用する。 鋼管製といい防露巻き ※ <表3.8.5>による。	<3.8.2> (表3.8.1) <表3.8.3～4> <3.8.3> (表3.8.5)
2.	仮	1. 仮囲い ・設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・万能鋼板（H= ）・波形鋼板（H= ）・単管シート（H= ） ・シートゲート（H= 、W= ）× 管所	
	設	2. 交通誘導員 配置する（122日 × 1人 = 122人日） ※ 配置しない 設置する（設置枚数 1枚） ※ 設置しない	
	工	3. 工事表示板 内部足場 ※ 脚立、足場板等 外部足場 ※ A種・B種・C種 防護シート ※ 設ける・設けない 材料の運搬 ※ D種 ※ E種	<2.2.1> <表2.2.1>
	事	4. 足場その他 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」によること。 改修範囲 行う 行わない <2.3.1> 養生の方法 ピニルシート 保管場所	
		5. 養生 ・設ける（図示） A種・B種 ※ C種	<2.3.2> (表2.3.1)
		6. 仮設間仕切り ・設ける（図示） A種・B種 ※ C種	<2.3.2> (表2.3.1)
		7. 監督職員事務所 ・設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） ・設ける（規模 100 m <sup>2</sup> 程度 請負者事務所と同様 ○可・否） 備品（）	<2.4.1>
		8. 工事用水 ・利用できる（※有償・無償） ※ 利用できない 構内既存の施設 ・利用できる（※有償・無償） ※ 利用できない 構内既存の施設 ・利用できる（※有償・無償） ※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く	
		9. 工事用通路 ※ 指定しない ○ 指定する（図示）	
3.	防	1. アスファルト防水 改修工法の種別 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工箇所	<3.1.4><3.3.3> (表3.3.3～10)
	水	2. 伸縮調整目地 伸縮装置の種類 種類 平面部脱気型・立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。	<3.3.2> (表3.3.5)
	改	3. 改質アスファルトシート防水 改修工法の種別	

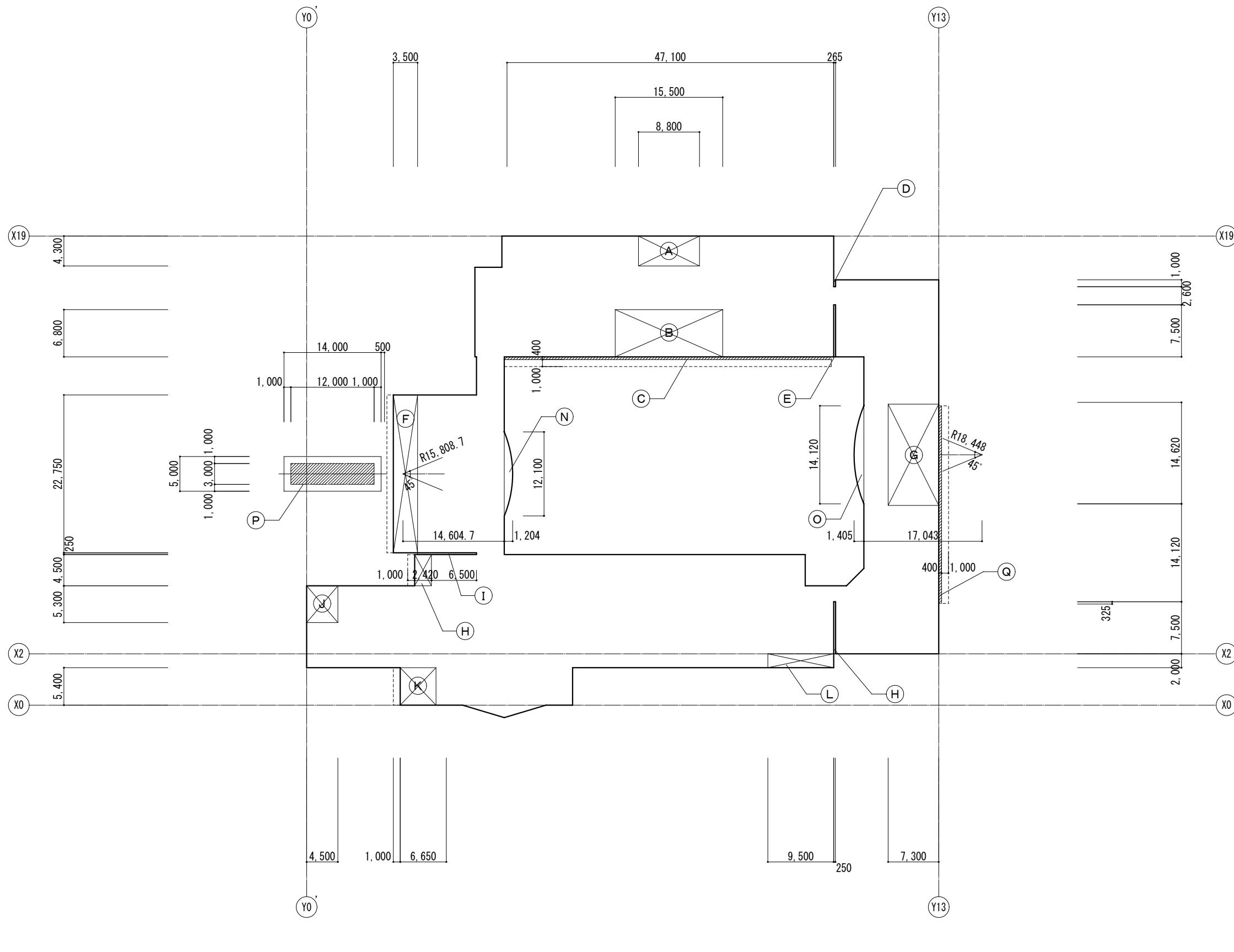




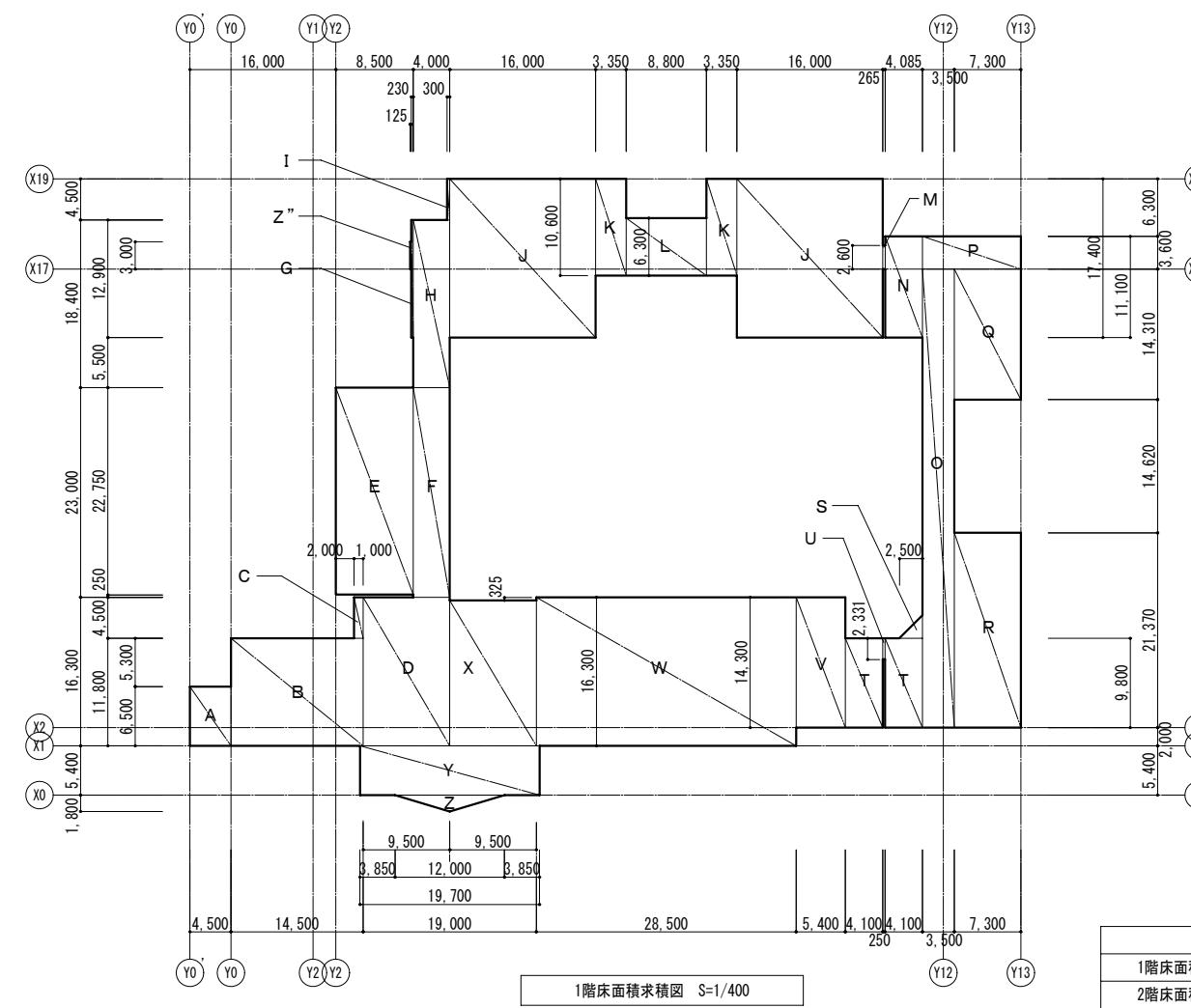
8 1. 再生材 2. 盛土材料 3. 遮断層及び 凍上抑制層用 材料 4. 路床土の 支持力比 (C B R) 試験 5. 路床締固め度 の試験 6. 路盤材料 7. 路盤の締固め 度の試験 8. アスファルト 舗装 9. コンクリート 舗装 10. ブロック系 舗装 11. 線石及び側溝 12. 砂利敷き 13. 区画線																																											
<p>※ 使用する   ・ 使用しない (22. 1. 3)</p> <p>路床の盛土材料   ・ A種 ※ B種   ・ C種   ・ D種 (22. 2. 3)</p> <p>遮断層   ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22. 2. 3)</p> <p>凍上抑制層用 材料   ※ 再生クラッシャラン   切込砂利又は切込碎石</p> <p>※ 行わない   ・ 行う (※ 亂した土   ・ 亂しない土) (22. 2. 5)</p> <p>※ 行わない   ※ 行う (箇所: 埋戻し及び盛土部) (22. 2. 5)</p> <p>※ 再生クラッシャラン R C - 4 0 (透水性舗装の場合を除く) ・ クラッシャラン C - 4 0 ・ クラッシャランスラグ C S - 4 0 (22. 3. 3) (表22. 3. 3)</p> <p>※ 行う (22. 3. 5)</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22. 4. 2) (22. 4. 4) (表22. 4. 5)</p> <p>表層 ※ 再生粒度アスファルト混合物 (1 3) ・ 密粒度アスファルト混合物 (1 3) ・ 細粒度アスファルト混合物 (1 3)</p> <p>舗装の厚さは 図示による</p> <p>基層 ※ 再生粗粒度アスファルト混合物 (2 0) ・ 粗粒度アスファルト混合物 (2 0)</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない   ・ 行う (22. 4. 6)</p> <p>早強セメント   ・ 使用する ※ 使用しない (22. 5. 3)</p> <p>溶接金網 ※ あり   ・ なし</p> <p>※ J I S K 5 6 6 5 3種1号</p>																																											
<p>① 一般事項</p> <p>石綿等の取扱いについては、大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97号) (以下、「大防法」という。) 及び石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号) (以下、「石綿則」という。) を遵守すること。</p> <p>施工調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行わない</li> <li>◎ 行う (大防法第18条の17により、同法の特定工事に該当するか 事前調査を行うこと。調査結果は、図面等に記録し、 書面により発注者に説明の上、提出すること。 特定工事に該当する場合、受注者は大防法第18条の15に による届出書の案を作成し、監督職員に提出すること。 調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議すること。)</li> </ul> <p>調査事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ アスベスト含有建材等の使用部位</li> <li>※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ、面積</li> <li>※ 施工範囲と工事範囲区分</li> <li>※ 排出等作業の方法</li> </ul> <p>調査結果を公衆に見やすいよう掲示すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 事業場の名称   ※ 調査結果</li> <li>※ 建築物等の種類   ※ 調査者及び所属</li> <li>※ 調査方法   ※ 調査終了年月日</li> <li>※ 発注者からの通知</li> </ul> <p>アスベスト含有分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行わない</li> <li>◎ 行う (分析結果は監督職員に提出する。)</li> </ul> <p>調査箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 図示</li> </ul> <p>分析方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ J I S A 1481 「建材製品中のアスベスト含有測定法」 による。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td>・ (試料数: )</td> <td>・ (試料数: )</td> </tr> <tr> <td>・ (試料数: )</td> <td>・ (試料数: )</td> </tr> </thead></table> <p>アスベスト粉じん濃度測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 行わない</li> <li>※ 行う (測定する時期・場所等は下表による) 「J I S 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部- : 光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法 による。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適 用 名 称</th> <th>測 定 時 期</th> <th>測 定 場 所</th> <th>測 定 点 (各施工箇所ごと)</th> <th>室 名 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 测定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内 (注1)</td> <td>※ 2 点 ※ 2 点</td> <td>・ 点 ・ 点</td> </tr> <tr> <td>・ 测定 2</td> <td></td> <td>施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>※ 2 点 ※ 2 点</td> <td>・ 点 ・ 点</td> </tr> <tr> <td>・ 测定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内 (注1)</td> <td>※ 2 点 ※ 2 点</td> <td>・ 点 ・ 点</td> </tr> <tr> <td>・ 测定 4</td> <td></td> <td>セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)</td> <td>※ 1 点 ※ 1 点 ※ 1 点</td> <td>・ 点 ・ 点 ・ 点</td> </tr> <tr> <td>・ 测定 5</td> <td></td> <td>負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)</td> <td>※ 1 点 ※ 1 点 ※ 1 点</td> <td>・ 点 ・ 点 ・ 点</td> </tr> <tr> <td>・ 测定 6</td> <td></td> <td>施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>※ 2 点 ※ 2 点</td> <td>・ 点 ・ 点</td> </tr> </tbody> </table>		材 料 名	定性分析	定量分析	・ (試料数: )	・ (試料数: )	・ (試料数: )	・ (試料数: )	適 用 名 称	測 定 時 期	測 定 場 所	測 定 点 (各施工箇所ごと)	室 名 等	・ 测定 1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※ 2 点 ※ 2 点	・ 点 ・ 点	・ 测定 2		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2 点 ※ 2 点	・ 点 ・ 点	・ 测定 3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※ 2 点 ※ 2 点	・ 点 ・ 点	・ 测定 4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※ 1 点 ※ 1 点 ※ 1 点	・ 点 ・ 点 ・ 点	・ 测定 5		負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※ 1 点 ※ 1 点 ※ 1 点	・ 点 ・ 点 ・ 点	・ 测定 6		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2 点 ※ 2 点	・ 点 ・ 点
材 料 名	定性分析	定量分析																																									
・ (試料数: )	・ (試料数: )																																										
・ (試料数: )	・ (試料数: )																																										
適 用 名 称	測 定 時 期	測 定 場 所	測 定 点 (各施工箇所ごと)	室 名 等																																							
・ 测定 1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※ 2 点 ※ 2 点	・ 点 ・ 点																																							
・ 测定 2		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2 点 ※ 2 点	・ 点 ・ 点																																							
・ 测定 3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※ 2 点 ※ 2 点	・ 点 ・ 点																																							
・ 测定 4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※ 1 点 ※ 1 点 ※ 1 点	・ 点 ・ 点 ・ 点																																							
・ 测定 5		負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※ 1 点 ※ 1 点 ※ 1 点	・ 点 ・ 点 ・ 点																																							
・ 测定 6		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2 点 ※ 2 点	・ 点 ・ 点																																							
<p>9 1. アスベス ト含有建 材の処 理工事</p> <p>② 除去工事 共通事項</p> <p>9.1.2(a)</p> <p>専門工事業者</p> <p>アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に 相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。</p> <p>作業主任者の選出</p> <p>石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者 技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければ ならない。</p> <p>除去作業者の教育</p> <p>作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、 肺機能に異常のない者とする。</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者の選出</p> <p>排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを 選任し管理しなければならない。 ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。</p> <p>表示及び掲示</p> <p>更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。</p> <p>選任し管理しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ アスベスト作業主任者名と職務内容</li> <li>※ 関係者以外立入禁止</li> <li>※ 喫煙・飲食の禁止</li> <li>※ 「アスベスト除去作業中」の表示</li> <li>※ アスベストの有害性</li> <li>※ 取り扱い上の注意事項</li> <li>※ 使用すべき保護具</li> </ul> <p>周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。</p> <p>※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への 届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等)」</p> <p>保護具、保護衣</p> <p>作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。</p> <p>除去したアスベスト含有物の保管、運搬等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管</li> <li>※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形版を運搬する 場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。</li> <li>※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。</li> </ul> <p>3. アスベスト 含有吹付け材 の除去</p> <p>アスベスト含有吹付け材の除去工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う (適用範囲 ・ 図示)</li> <li>・ 行わない</li> </ul> <p>作業場等の隔離等</p> <p>※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により 飛散防止をすること。</p> <p>隔離シートの性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 床面   ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重</li> <li>※ 壁面   ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等</li> </ul> <p>ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」に による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査 証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等 の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には 監督員の承諾を得ること。</p>																																											
<p>9 1. アスベス ト含有建 材の処 理工事</p> <p>セキュリティゾーンの設置</p> <p>※ 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>室名</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>更衣室</td> <td>※ 更衣ロッカー   ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱   ※ 洗顔、うがい設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種 b</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ A種押出法 3種 b (スキン層付き)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 硬質ウレタン フォーム保温材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ フェノール フォーム保温材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>9.1.3(a)</p> <p>9.1.3(b)</p> <p>9.1.3(c)</p> <p>9.1.3(d)</p> <p>9.1.3(e)</p> <p>9.1.3(f)</p> <p>9.1.3(g)</p> <p>9.1.3(h)</p> <p>9.1.3(i)</p> <p>9.1.3(j)</p> <p>9.1.3(k)</p> <p>9.1.3(l)</p> <p>9.1.3(m)</p> <p>9.1.3(n)</p> <p>9.1.3(o)</p> <p>9.1.3(p)</p> <p>9.1.3(q)</p> <p>9.1.3(r)</p> <p>9.1.3(s)</p> <p>9.1.3(t)</p> <p>9.1.3(u)</p> <p>9.1.3(v)</p> <p>9.1.3(w)</p> <p>9.1.3(x)</p> <p>9.1.3(y)</p> <p>9.1.3(z)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)</p> <p>9.1.3(mm)</p> <p>9.1.3(nn)</p> <p>9.1.3(oo)</p> <p>9.1.3(pp)</p> <p>9.1.3(qq)</p> <p>9.1.3(rr)</p> <p>9.1.3(ss)</p> <p>9.1.3(tt)</p> <p>9.1.3(uu)</p> <p>9.1.3(vv)</p> <p>9.1.3(ww)</p> <p>9.1.3(xx)</p> <p>9.1.3(yy)</p> <p>9.1.3(zz)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)</p> <p>9.1.3(mm)</p> <p>9.1.3(nn)</p> <p>9.1.3(oo)</p> <p>9.1.3(pp)</p> <p>9.1.3(qq)</p> <p>9.1.3(rr)</p> <p>9.1.3(ss)</p> <p>9.1.3(tt)</p> <p>9.1.3(uu)</p> <p>9.1.3(vv)</p> <p>9.1.3(ww)</p> <p>9.1.3(xx)</p> <p>9.1.3(yy)</p> <p>9.1.3(zz)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)</p> <p>9.1.3(mm)</p> <p>9.1.3(nn)</p> <p>9.1.3(oo)</p> <p>9.1.3(pp)</p> <p>9.1.3(qq)</p> <p>9.1.3(rr)</p> <p>9.1.3(ss)</p> <p>9.1.3(tt)</p> <p>9.1.3(uu)</p> <p>9.1.3(vv)</p> <p>9.1.3(ww)</p> <p>9.1.3(xx)</p> <p>9.1.3(yy)</p> <p>9.1.3(zz)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)</p> <p>9.1.3(mm)</p> <p>9.1.3(nn)</p> <p>9.1.3(oo)</p> <p>9.1.3(pp)</p> <p>9.1.3(qq)</p> <p>9.1.3(rr)</p> <p>9.1.3(ss)</p> <p>9.1.3(tt)</p> <p>9.1.3(uu)</p> <p>9.1.3(vv)</p> <p>9.1.3(ww)</p> <p>9.1.3(xx)</p> <p>9.1.3(yy)</p> <p>9.1.3(zz)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)</p> <p>9.1.3(mm)</p> <p>9.1.3(nn)</p> <p>9.1.3(oo)</p> <p>9.1.3(pp)</p> <p>9.1.3(qq)</p> <p>9.1.3(rr)</p> <p>9.1.3(ss)</p> <p>9.1.3(tt)</p> <p>9.1.3(uu)</p> <p>9.1.3(vv)</p> <p>9.1.3(ww)</p> <p>9.1.3(xx)</p> <p>9.1.3(yy)</p> <p>9.1.3(zz)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)</p> <p>9.1.3(mm)</p> <p>9.1.3(nn)</p> <p>9.1.3(oo)</p> <p>9.1.3(pp)</p> <p>9.1.3(qq)</p> <p>9.1.3(rr)</p> <p>9.1.3(ss)</p> <p>9.1.3(tt)</p> <p>9.1.3(uu)</p> <p>9.1.3(vv)</p> <p>9.1.3(ww)</p> <p>9.1.3(xx)</p> <p>9.1.3(yy)</p> <p>9.1.3(zz)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)</p> <p>9.1.3(mm)</p> <p>9.1.3(nn)</p> <p>9.1.3(oo)</p> <p>9.1.3(pp)</p> <p>9.1.3(qq)</p> <p>9.1.3(rr)</p> <p>9.1.3(ss)</p> <p>9.1.3(tt)</p> <p>9.1.3(uu)</p> <p>9.1.3(vv)</p> <p>9.1.3(ww)</p> <p>9.1.3(xx)</p> <p>9.1.3(yy)</p> <p>9.1.3(zz)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)</p> <p>9.1.3(mm)</p> <p>9.1.3(nn)</p> <p>9.1.3(oo)</p> <p>9.1.3(pp)</p> <p>9.1.3(qq)</p> <p>9.1.3(rr)</p> <p>9.1.3(ss)</p> <p>9.1.3(tt)</p> <p>9.1.3(uu)</p> <p>9.1.3(vv)</p> <p>9.1.3(ww)</p> <p>9.1.3(xx)</p> <p>9.1.3(yy)</p> <p>9.1.3(zz)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)</p> <p>9.1.3(mm)</p> <p>9.1.3(nn)</p> <p>9.1.3(oo)</p> <p>9.1.3(pp)</p> <p>9.1.3(qq)</p> <p>9.1.3(rr)</p> <p>9.1.3(ss)</p> <p>9.1.3(tt)</p> <p>9.1.3(uu)</p> <p>9.1.3(vv)</p> <p>9.1.3(ww)</p> <p>9.1.3(xx)</p> <p>9.1.3(yy)</p> <p>9.1.3(zz)</p> <p>9.1.3(aa)</p> <p>9.1.3(bb)</p> <p>9.1.3(cc)</p> <p>9.1.3(dd)</p> <p>9.1.3(ee)</p> <p>9.1.3(ff)</p> <p>9.1.3(gg)</p> <p>9.1.3(hh)</p> <p>9.1.3(ii)</p> <p>9.1.3(jj)</p> <p>9.1.3(kk)</p> <p>9.1.3(ll)&lt;/p</p>	適用	室名	状態	※	更衣室	※ 更衣ロッカー   ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱   ※ 洗顔、うがい設備			※ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種 b			※ A種押出法 3種 b (スキン層付き)			・ 硬質ウレタン フォーム保温材			・ フェノール フォーム保温材			・ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材			・																			
適用	室名	状態																																									
※	更衣室	※ 更衣ロッカー   ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱   ※ 洗顔、うがい設備																																									
		※ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種 b																																									
		※ A種押出法 3種 b (スキン層付き)																																									
		・ 硬質ウレタン フォーム保温材																																									
		・ フェノール フォーム保温材																																									
		・ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材																																									
		・																																									

1章 一般事項		特記事項																																					
項目	特記事項	項目	特記事項																																				
発生材の処理	<p>1. 廃棄物の処理は、処分業者及び運搬業者とも許可を受けた業者を選定し、関係法令等に従い適切に処理する。</p> <p>2. 引渡しを要しないもので産業廃棄物以外のものは、すべて場外に搬出、関係法令等に従い適切に処理する。</p> <p>3. 各処理終了後、処理状況を監督職員に報告する。</p> <p>4. 特別管理廃棄物が発注した場合は、関係法令に従い、適切に処理する。</p>	施工計画調書	着工に先立ち、施工計画作成のための調査を作成する。																																				
建設副産物の受け入れ施設等	<p>1. 請負者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（いわゆる「建設リサイクル法」平成12年法律第104号）及び「山形県建設リサイクル指針」（平成14年4月制定）に基づき、資材の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を行わなければならない。</p>	実施工程表	着工に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。																																				
分別解体等の方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th><th>作業内容</th><th>分別解体等の方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①建築設備・内装材等</td><td>建築設備・内装材等の取り外し ■ 有 □ 無</td><td>■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）</td></tr> <tr> <td>②屋根葺材（屋上防水材）</td><td>屋根葺材の取り外し ■ 有 □ 無</td><td>■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）</td></tr> <tr> <td>③外装材 仕上材・床タイル</td><td>外装材・構造部分の取り壊し ■ 有 □ 無</td><td>□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>④基礎・基礎杭</td><td>基礎・基礎杭の取り壊し □ 有 ■ 無</td><td>□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>⑤その他 (ガラスブロック)</td><td>その他の取り壊し ■ 有 □ 無</td><td>■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用</td></tr> </tbody> </table>	工程	作業内容	分別解体等の方法	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し ■ 有 □ 無	■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）	②屋根葺材（屋上防水材）	屋根葺材の取り外し ■ 有 □ 無	■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）	③外装材 仕上材・床タイル	外装材・構造部分の取り壊し ■ 有 □ 無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用	④基礎・基礎杭	基礎・基礎杭の取り壊し □ 有 ■ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用	⑤その他 (ガラスブロック)	その他の取り壊し ■ 有 □ 無	■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用	施工計画書	着工に先立ち、作業順序、使用機材等を定めた施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。																		
工程	作業内容	分別解体等の方法																																					
①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し ■ 有 □ 無	■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）																																					
②屋根葺材（屋上防水材）	屋根葺材の取り外し ■ 有 □ 無	■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）																																					
③外装材 仕上材・床タイル	外装材・構造部分の取り壊し ■ 有 □ 無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用																																					
④基礎・基礎杭	基礎・基礎杭の取り壊し □ 有 ■ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用																																					
⑤その他 (ガラスブロック)	その他の取り壊し ■ 有 □ 無	■ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用																																					
	<p>2. 建設工事の施工により発生する指定副産物は、下記の施設に搬出する、（下記以外の処理場の場合は、監督職員と協議する。）</p> <p>再資源化等をする施設の名称及び所在地</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定建設資材廃棄物の種類</th><th>処理種別</th><th>受入施設名（参考）</th><th>住所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート類</td><td>破碎中間処理リサイクル</td><td>デスピテック株式会社</td><td>鶴岡市柳久瀬字武良免1-1</td></tr> <tr> <td>仕上材類（ボード・壁紙）</td><td>中間処理後管理型埋立</td><td>ウィズ環境株式会社</td><td>鶴岡市大字西目字水上沢129-5</td></tr> <tr> <td>仕上材類（畳）</td><td>中間処理後圓形燃料（リサイクル）</td><td>ウィズ環境株式会社</td><td>鶴岡市大字西目字水上沢129-5</td></tr> <tr> <td>木くず類</td><td>中間処理後リサイクル</td><td>ウィズ環境株式会社 エコパーク大山</td><td>鶴岡市大字西目字水上沢129-5</td></tr> <tr> <td>ガラス・陶磁器くず・鉄</td><td>中間処理後管理型埋立・安定型埋立</td><td>ウィズ環境株式会社</td><td>鶴岡市大字西目字水上沢129-5</td></tr> <tr> <td>金属くず（アルミ等）</td><td>リサイクル（有価物処分）</td><td>デスピテック株式会社</td><td>鶴岡市柳久瀬字武良免1-1</td></tr> <tr> <td>混合ガラ類</td><td>破碎中間処理リサイクル</td><td>デスピテック株式会社</td><td>鶴岡市柳久瀬字武良免1-1</td></tr> <tr> <td>防水層等撤去材</td><td>中間処理後安定型埋立</td><td>ウィズ環境株式会社</td><td>鶴岡市大字西目字水上沢129-5</td></tr> </tbody> </table>	特定建設資材廃棄物の種類	処理種別	受入施設名（参考）	住所	コンクリート類	破碎中間処理リサイクル	デスピテック株式会社	鶴岡市柳久瀬字武良免1-1	仕上材類（ボード・壁紙）	中間処理後管理型埋立	ウィズ環境株式会社	鶴岡市大字西目字水上沢129-5	仕上材類（畳）	中間処理後圓形燃料（リサイクル）	ウィズ環境株式会社	鶴岡市大字西目字水上沢129-5	木くず類	中間処理後リサイクル	ウィズ環境株式会社 エコパーク大山	鶴岡市大字西目字水上沢129-5	ガラス・陶磁器くず・鉄	中間処理後管理型埋立・安定型埋立	ウィズ環境株式会社	鶴岡市大字西目字水上沢129-5	金属くず（アルミ等）	リサイクル（有価物処分）	デスピテック株式会社	鶴岡市柳久瀬字武良免1-1	混合ガラ類	破碎中間処理リサイクル	デスピテック株式会社	鶴岡市柳久瀬字武良免1-1	防水層等撤去材	中間処理後安定型埋立	ウィズ環境株式会社	鶴岡市大字西目字水上沢129-5		
特定建設資材廃棄物の種類	処理種別	受入施設名（参考）	住所																																				
コンクリート類	破碎中間処理リサイクル	デスピテック株式会社	鶴岡市柳久瀬字武良免1-1																																				
仕上材類（ボード・壁紙）	中間処理後管理型埋立	ウィズ環境株式会社	鶴岡市大字西目字水上沢129-5																																				
仕上材類（畳）	中間処理後圓形燃料（リサイクル）	ウィズ環境株式会社	鶴岡市大字西目字水上沢129-5																																				
木くず類	中間処理後リサイクル	ウィズ環境株式会社 エコパーク大山	鶴岡市大字西目字水上沢129-5																																				
ガラス・陶磁器くず・鉄	中間処理後管理型埋立・安定型埋立	ウィズ環境株式会社	鶴岡市大字西目字水上沢129-5																																				
金属くず（アルミ等）	リサイクル（有価物処分）	デスピテック株式会社	鶴岡市柳久瀬字武良免1-1																																				
混合ガラ類	破碎中間処理リサイクル	デスピテック株式会社	鶴岡市柳久瀬字武良免1-1																																				
防水層等撤去材	中間処理後安定型埋立	ウィズ環境株式会社	鶴岡市大字西目字水上沢129-5																																				
	<p>3. 搬出調査等 搬出完了後、マニフェストの写しを提出すること。</p> <p>4. 再生資材の使用工種、再生処理施設へに運搬処理等については監督職員と協議しなければならない。</p> <p>5. 請負者は、リサイクル計画書を総合施工計画書に添付すること。また、分別解体等・再資源化等が完了したときは、以下の事項を書面（建設副産物処理結果報告書）に記載し、監督職員に報告することとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再資源化等が完了した年月日</li> <li>・再資源化等をした施設の名称及び所在地</li> <li>・再資源化等に要した費用</li> </ul> <p>6. 請負者は、施工計画作成時、工事完了時、及び計画の変更が生じた場合に、【再生資源利用促進計画書（実施書）】を作成し、監督職員に提出することとする。</p>																																						
施工条件	<p>アスベスト含有建材の撤去</p> <p>レベル1・レベル2以外の石綿含有建材 産業廃棄物</p> <p>■ 「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」に基づく 石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル [2.20版] (H30.3 厚生労働省) 記載内の分類「レベル3」に相当する対応をとること</p> <p>特記以外の施工条件は、監督職員の指示による。</p>																																						
災害及び公害の防止	<p>災害及び公害の防止 工事施工に伴う災害及び公害の防止は関係法令に従い、適切に処理するとともに、次の事項を守らなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第3者に災害を及ぼしてはならない。</li> <li>2. 公害の防止につとめる。</li> <li>3. 善良な管理をもってしても、なお災害又は公害の発生の恐れがある場合の処置については、監督職員と協議する。</li> <li>4. 住宅街という地域性を考慮して、付近住民に対し騒音、粉塵について充分な説明を行うこととする。</li> </ol>																																						
臨機の処理	災害又は公害が発生した場合は、速やかに適切な処理を取り、直ちにその経緯を監督職員に報告する。																																						
養生	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 汚染又は損傷の恐れのあるものは、適切な方法で養生を行う。</li> <li>2. 工事施工に際し既存部分を汚染し損傷した場合は、監督職員に報告するとともに、承諾を受けて現状に準じて補修する。</li> </ol>																																						

 <p>ITO designs 合同会社</p>	<p>一級建築士事務所 山形県知事登録（1206）第2108号 山形県鶴岡市加茂字坂ノ下194番地 TEL: 0235-35-0192 FAX: 0235-35-0193 管理建築士 一級建築士登録 第275236号 伊藤 薫</p>	<table border="1"> <tr> <td>代表となる設計者</td><td>その他の設計者</td></tr> <tr> <td>一級建築士 第275236号</td><td>一級建築士 第374603号 建築設備士第2384-001R号</td></tr> <tr> <td>伊藤 薫</td><td>五十嵐 圭</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table>	代表となる設計者	その他の設計者	一級建築士 第275236号	一級建築士 第374603号 建築設備士第2384-001R号	伊藤 薫	五十嵐 圭					<p>工事名 鶴岡市立鶴岡第五中学校校舎棟第1期大規模改修工事</p>	<p>設計番号 A - 05</p>
代表となる設計者	その他の設計者													
一級建築士 第275236号	一級建築士 第374603号 建築設備士第2384-001R号													
伊藤 薫	五十嵐 圭													
<p>図面名 撤去工事特記仕様書</p>	<p>縮尺 A1 = non A3 = non</p>	<p>日付 2025/10/10</p>	<p>No.</p>											

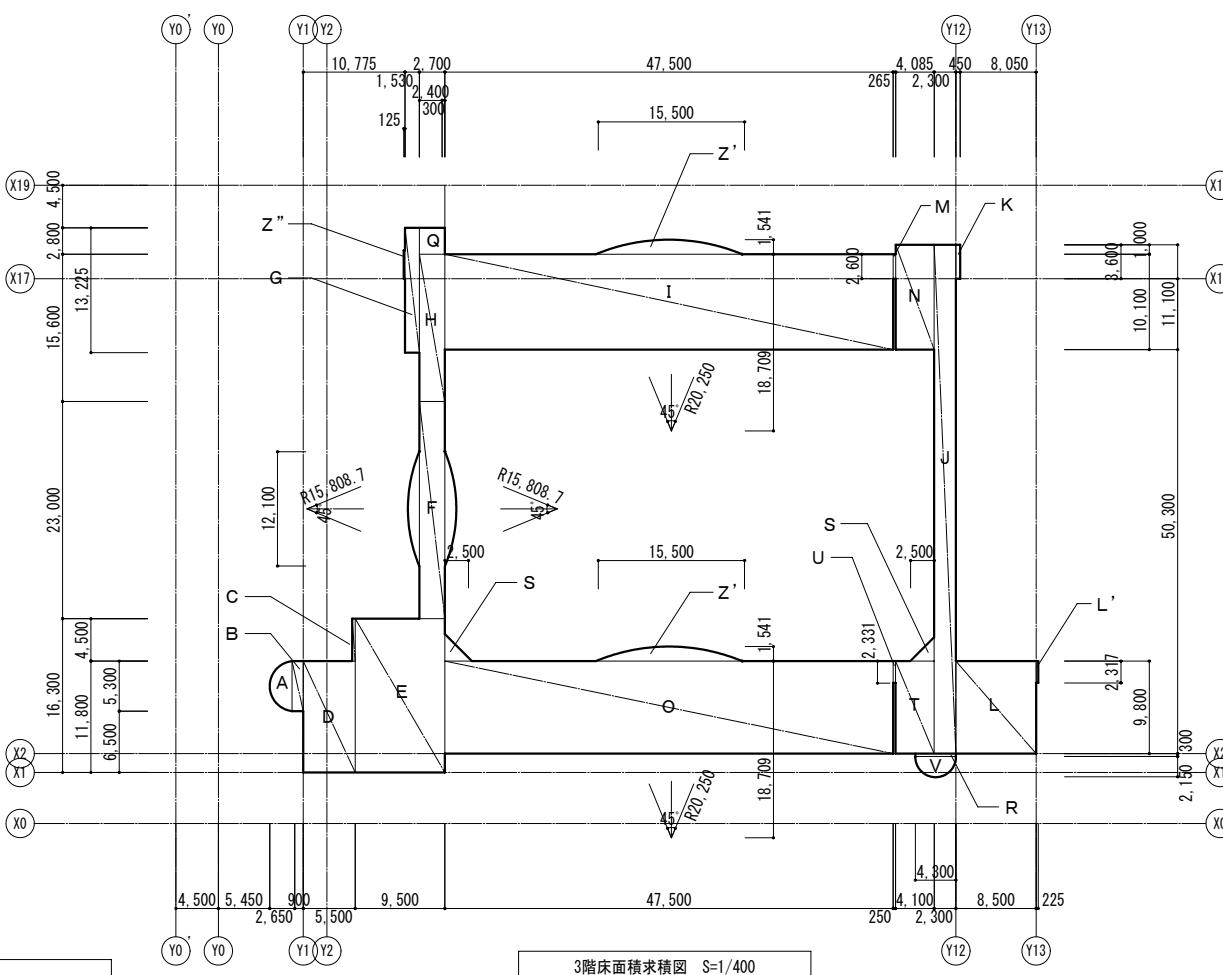


建築面積計算式								
(A)	8.80	×	4.30	39.6000				
(B)	15.50	×	6.80	105.4000				
(C)	47.15	×	0.40	18.8600				
(D)	0.265	×	1.00	0.265				
(E)	0.265	×	7.50	1.9875				
(F)	3.50	×	22.75	79.6250				
(G)	7.30	×	14.620	106.7260				
(H)	2.42	×	4.50	10.8900				
(I)	5.80	×	0.25	1.4500				
(J)	4.50	×	5.30	23.8500				
(K)	6.65	×	5.40	35.9100				
(L)	9.50	×	2.00	19.0000				
(M)	0.25	×	7.50	1.8750				
(N)	3.14	×	15.8087	×	15.8087/8			
	—		12.10	×	14.6047	×	0.5	9.7332
(O)	3.14	×	18.448	×	18.448/8			
	—		14.12	×	17.043	×	0.5	13.2554
(P)	3.00	×	12.00					36.0000
(Q)	28.24	×	0.40					11.206
計					515.7231			
1階床面積					2,822.8338			
合計					3,338.5569			

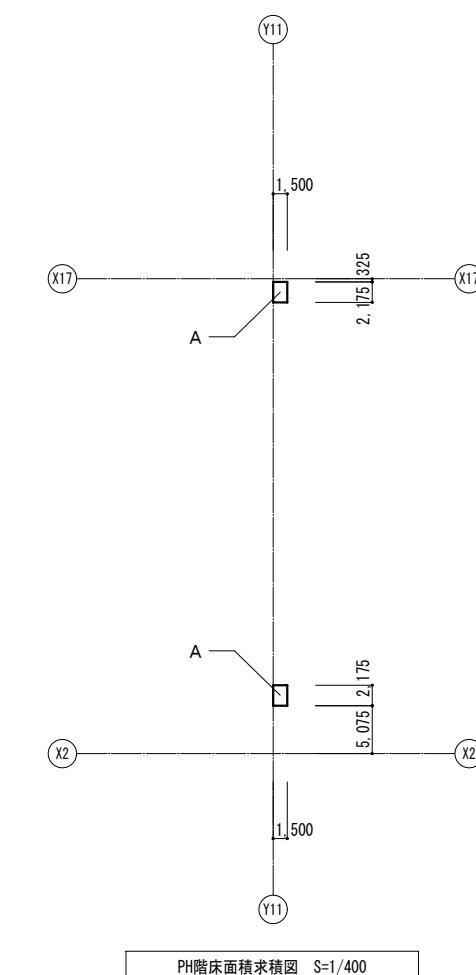


1階床面積求積図 S=1/400

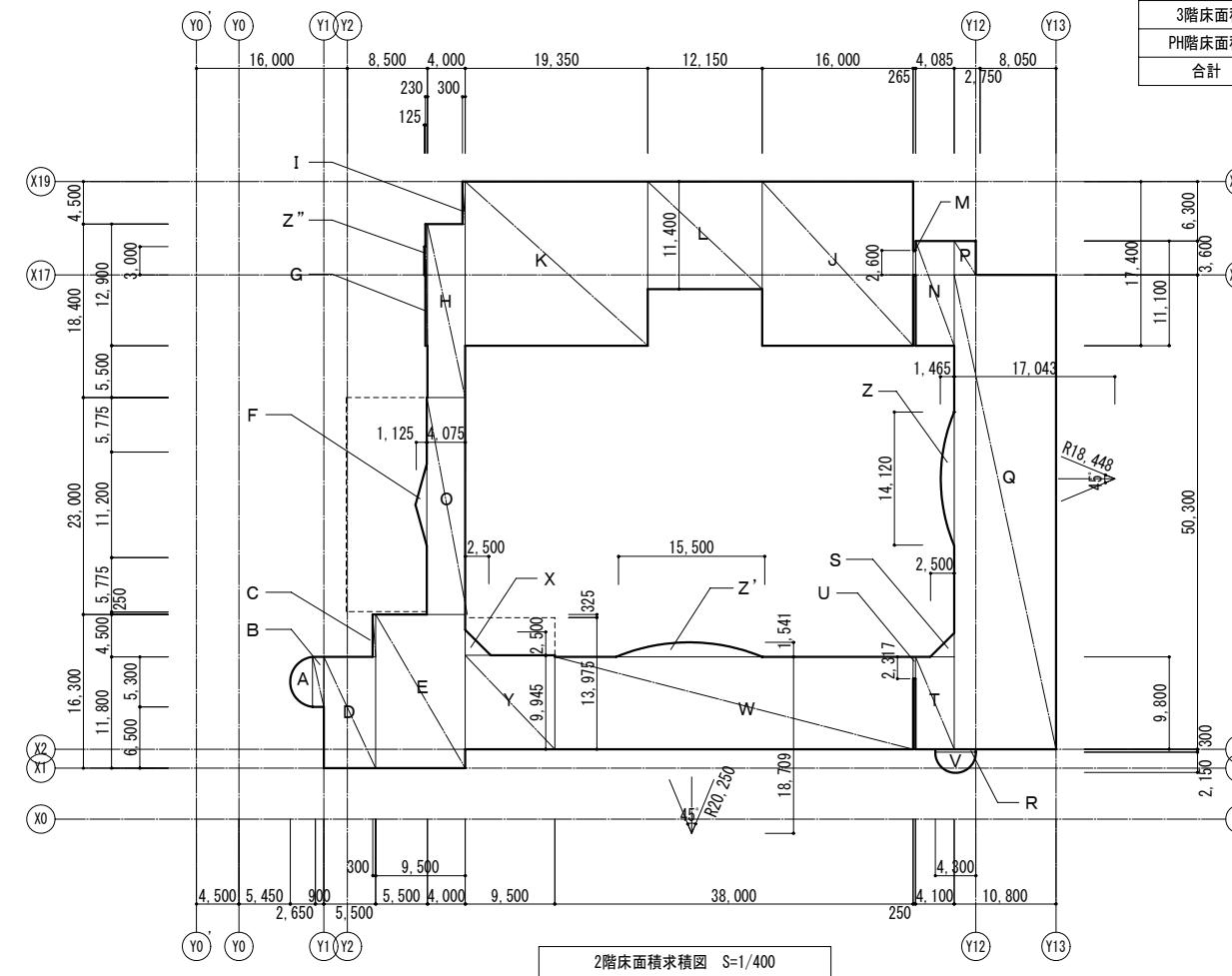
床面積表	
1階床面積	2,822.833
2階床面積	2,319.629
3階床面積	1,657.070
PH階床面積	6.525
合計	6,806.058



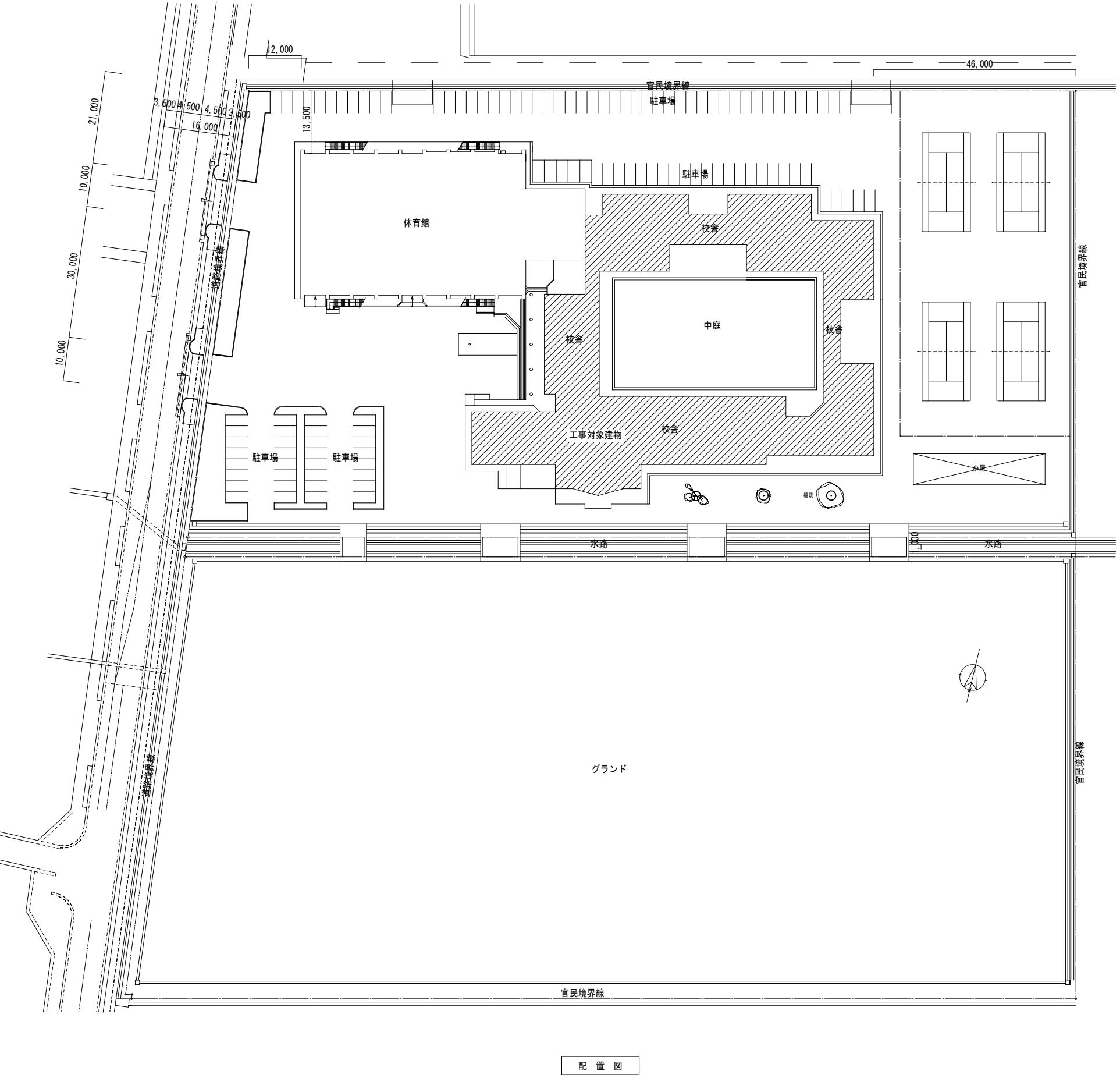
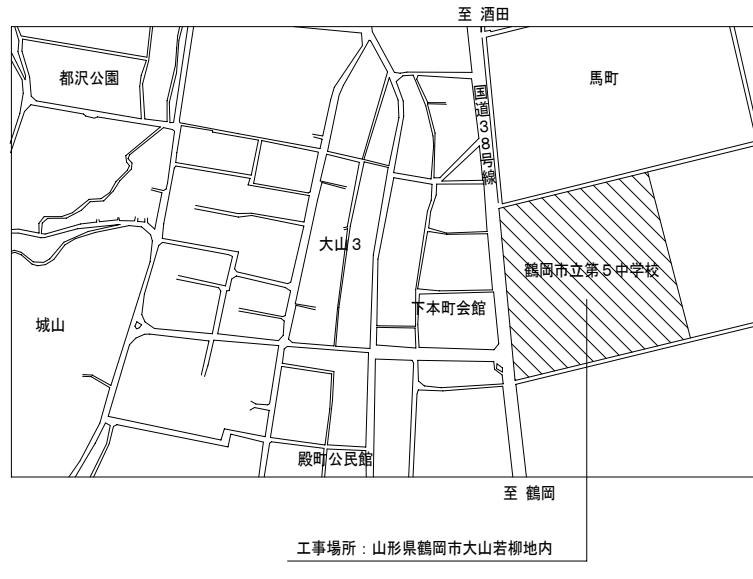
3階床面積求積図 S-1



PH階床面積求積図 S=1/400



2階床面積求積図 S=1/400



## 外部仕上表

## 外部仕上

屋根 (立上り部共)	コンクリート金ゴテ 塩化ビニル樹脂系シート防水HG厚2.0mm(LONSEALベストブルーフ同等品)非歩行部分 →【撤去】既存塩化ビニル樹脂系シート防水HG厚2.0mm 目地金物共	… (A)	撤去
ペランダ床	コンクリート金ゴテ 軟質不飽和ポリエステル樹脂塗膜防水(三井東圧科学(株)MTフレックス同等品)バルコニー等歩行部分 →【撤去】既存軟式不飽和ポリエステル樹脂塗膜防水面 サンダーケレン	… (B)	撤去
外壁	コンクリート打放し 複層塗材吹付(トップコートウレタン、ゆず肌、恒和ダンセイタイル同等品) →【撤去】既存複層塗材吹付塗装(トップコートウレタン)面 ケレン及び高圧洗浄(30.0MPa以上)		撤去
バラベット	コンクリート打放し 弹性吹付タイル(恒和同等品) →【撤去】既存弾性吹付タイル ケレン及び高圧洗浄(30.0MPa以上)		撤去
軒天井	昇降口軒天: 化粧羽目板ロッキーウッド(米樹)PUL3 (昇降口、職員玄関ボーチ) →【撤去】 梁型: コンクリート打放し 複層塗材吹付(トップコートウレタン) →【撤去】既存複層塗材吹付塗装(トップコートウレタン)面 ケレン及び高圧洗浄(30.0MPa以上) 一般部軒天: ケイ酸カルシウム板厚6mm目スカシ ウレタン吹付(フラット) →【撤去】※ 石綿レベル3 建材 軒天壁等取合、塩ビ廻り縁 →【撤去】		撤去
基礎巾木	コンクリート打放し 複層塗材吹付 →【撤去】既存複層塗材吹付塗装面 ケレン及び高圧洗浄(30.0MPa以上)		撤去
鼻隠・破風	・		
庇	・		
開口部	アルミサッシ シルバー ビル用一部二重サッシ 網戸付(建具表に依る)		
ポーチ	モルタル塗り 150角磁器質タイル(INAX テクニカルG同等品)段鼻有り		
テラス	モルタル塗り 150角磁器質タイル(INAX テクニカルG同等品)段鼻有り →【撤去】一部撤去 中庭側 ( A-13 【既存・撤去】1階平面図 参照のこと)	一部撤去	
断熱材	現場発泡ウレタンフォーム厚15mm吹付(コンクリート外壁、壁、天井、梁より300mmマデ) コンクリート屋根全面、サッシ廻り		

## 外部金物

笠木	アルミ(シルバー)W=200mm →【撤去】一部撤去 漏水箇所 ( A-68, 69 (既存・改修)西側渡り廊下漏水箇所(エキスパンションジョイント)詳細図 参照のこと)	一部撤去
ルーフドレイン	ステンレス DKC SRA-IDK SRM-IDK SR-ALK SR-MLK SRM-IDK 同等品	
豎樋	ステンレス クリアカラー厚0.6mm 飾りマス、クリアカラーA形厚0.8mm タニタハウジング同等品 外部塩ビバルコニー立上り2.0mマデニ重とする	
軒樋	・	
タラップ	・	
手摺	ステンレスSUS304加工 鏡面仕上(詳細による)	
旗竿金物	ミニフラッガー1200 サンポール同等品	
外部建具	ビル用 アルミサッシ シルバー →【撤去】一部撤去 外部建具廻りシーリング材	一部撤去

外構	
笠木	アルミ(シルバー)W=200mm
足洗場	ステンレスグレーティング(450×450)×2 ステンレスL-3×30×30 受枠付 内部防水モルタル金ゴテ
側溝	外構別紙詳細図に依る(別途工事)
ます	外構別紙詳細図に依る(別途工事)
土留・擁壁	・
フェンス	・
外部袖壁 (花壇)	コンクリート打放し 化粧目地入 複層塗材吹付 →【撤去】既存複層塗材吹付塗装面 ケレン及び高圧洗浄(30.0MPa以上) ( A-40, 41 【既存・撤去】外部袖壁外構図 参照のこと)
門	外構別紙詳細図に依る(別途工事)
舗装	外構別紙詳細図に依る(別途工事)
自転車置場	・

凡例

撤去

… 仕上【撤去】を示す

一部撤去

… 仕上【一部撤去】を示す

内部仕上表(1)																		
階	室名	床			巾木		壁			天井					床改め口	天井改め口	備考	
		下地材	仕上材	床高	仕上材	高さ	下地材	仕上材	防火番号	下地材	仕上材	廻り縁	天井高	防火番号				
	昇降口	モルタル塗り	150角磁器質タイル (INAX テクニカルG同等品)	-50 ~ -110	CON打放し アクリル系樹脂内装材吹付 (ABCウォールアクリル内部用)		コンクリート打放し LGS-W65 LGS-W65	アクリル系樹脂内装材吹付 (ABCウォールアクリル内部用) ベニア合板厚9(目スカシ) 羽目板合板厚9 PUL ベニア合板厚9 二次曲面化粧材 PUL3		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚12 ボーダートラバーン厚9 羽目板合板厚9 【撤去】	塩ビ				○	下足棚 備品(別紙備品リストに依る) 上り框 テラゾー(60*100) Y4-X11 柱 巾木テラゾー厚25	
	昇降口ホール	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁	腰 フローリング厚15 クリアー 壁 榻合板厚12 PUL 目スカシ		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9 (サンメントアール51(C型)) CL	塩ビ	3,020		○	○	下足棚 備品(別紙備品リストに依る) 上り框 ミカゲ石ミガキ 60*100	
	職員玄関	モルタル塗り 鋼製床組	150角磁器質タイル (INAX テクニカルG同等品) コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	-60 ~ -80	コンクリート打放し アクリル系樹脂内装材吹付		コンクリート打放し LGS-W90	アクリル系樹脂内装材吹付 (ABCウォールアクリル内部用) ベニア合板厚9(目スカシ) アクリル系樹脂内装材吹付		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9 羽目板合板厚9 【撤去】	塩ビ			○			
	展示室	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	腰 フローリング厚15 クリアー 壁 榻合板厚12 PUL 目スカシ 一部 二次曲面化粧材		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9 一部 石膏ボード厚9.5 ビニールクロス	塩ビ	3,020 7,320		○	○	腰力ベ見切 サンメントNo.23 PUL	
	廊下	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3 一部モルタル金ゴテ 弹性ポリウレタン樹脂塗り床 (ABCフローリングDLハード厚2同等品)	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)	腰 フローリング厚15 クリアー 壁 榻合板厚12 PUL 目スカシ		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9 【一部撤去】※ 石綿レベル3 建材	塩ビ	3,020		○	○	腰壁見切 木 PUL(掲示枠共) 襖合板厚9掲示用ビニールクロス(暗線入)	
	水飲み場	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	腰 フローリング厚15 クリアー 壁 ラウン合板厚5.5 ポリ合板厚4.0		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9	塩ビ	3,020		○	○	流し台(別紙備品リストに依る)	
	談話ホール	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁	腰 フローリング厚15 クリアー 壁 榻合板厚12 PUL 目スカシ 一部 二次曲面化粧材		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9	塩ビ	3,020		○	○	造付ベンチ(家具リストに依る) 掲示板 廊下 間仕上	
	音楽室 (1)(2)	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	木胴縁 LGS-W90 グラスワールガラスクロス厚25 24K グラスワール厚100	有孔檜合板厚6 +特殊インクレーショントド PUL3 目スカシ(大建 防音ハネル厚18 シナ同等品) 石膏ボード厚12.5 榻合板厚9 掲示板用ビニールクロス		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚19 (ダイケンR-32同等品) ロックウール吸音板厚9 トランバーン 石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚12 (リ)トランバーン厚9	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る) ピクチャーレール(先付) レッスン室は音楽室同仕上とする
	音楽準備室 レッスン室	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	檜合板厚9 PUL3 目スカシ 檜合板厚9 一部有孔(マド下) PUL		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	木工室	モルタル金ゴテ	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3 (一部モルタル金ゴテ 特殊長尺塗ビシート厚3.5)	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	檜合板厚9 一部有孔(マド下) PUL 檜合板厚9掲示板用ビニールクロス(暗線入)		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX PUL 実習台 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	木工準備室	モルタル金ゴテ	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	檜合板厚9 PUL3 目スカシ 檜合板厚9 PUL3 目スカシ		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
1	電気機械室	モルタル金ゴテ	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3 (一部モルタル金ゴテ 特殊長尺塗ビシート厚3.5)	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	檜合板厚9 一部有孔(マド下) PUL 檜合板厚9掲示板用ビニールクロス(暗線入)		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9 (トランバーン)	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX PUL 実習台 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	電気機械準備室	モルタル金ゴテ	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	檜合板厚9 PUL3 目スカシ 檜合板厚9 PUL3 目スカシ		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	コンピュータ室 普通教室(特)	フリーアクセスフロア	タイルカーペット厚6.5 (BCFナイロン同等品)	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	檜合板厚9 一部有孔(マド下) PUL 檜合板厚9.5 PUL2 目スカシ		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9 (トランバーン)	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	会議室	フリーアクセスフロア	タイルカーペット厚6.5 (BCFナイロン同等品)	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	有孔檜合板厚9 目スカシ PUL3 (マド下) 石膏ボード厚12.5 ビニールクロス 檜合板厚9.5掲示板用ビニールクロス		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚12 ボーダー厚9(トランバーン)	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	保健室	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	有孔檜合板厚9 目スカシ PUL3 (マド下) 檜合板厚12掲示板用ビニールクロス 有孔石膏ケイ酸カルシウム板厚9 VP	難燃材料 0003号 不燃材 1061号	LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9 (トランバーン)	塩ビ	3,020	2025号	○	○	カーテンBOX PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	洗濯室	木床組	コンバネ合板厚12(2重貼り) 長尺塗ビシート厚2.5	0	木製 OP	75	木胴縁 LGS-W90	耐水ボード厚12 ビニールクロス コンバネ厚12 100角タイル(INAX リーリック100)		LGS-C	ケイ酸カルシウム板厚6 目スカシ VP2	塩ビ	2,400		○	○	洗濯パン等備品(別紙備品リストに依る) タイル見切 アルミ	
	脱衣室	木床組	コンバネ合板厚12(2重貼り) 長尺塗ビシート厚2.5	+50	木製 OP	75	木胴縁 LGS-W90	耐水ボード厚12 ビニールクロス (SINCOL BEST1000同等品)		LGS-C	ケイ酸カルシウム板厚6 目スカシ VP2	塩ビ	2,350		○	○	棚等備品	
	シャワーリーム	CON金ゴテ塗膜防水 (MTフレックス同等品) 押エCON モルタル塗り	50角磁器質タイル (INAX アコルディM同等品)	-50	CON打放し 塗膜防水H=300 (MTフレックス同等品)		CONモルタル塗り LGS-W90 ラス貼モルタル塗り	コンバネ厚12 100角タイル (INAX リーリック100)		LGS-C	浴室用天井材(松下 バスリブ同等品)	塩ビ	2,450		○			
	教育相談室	鋼製床組	コンバネ合板厚12(2重貼り) タイルカーペット厚6.5 (BCFナイロン同等品)	0	木製 着色 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	有孔檜合板厚9 目スカシ PUL3 (マド下) 石膏ボード厚12.5 ビニールクロス (SINCOL BEST1000同等品)		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚12 ボーダー厚9(トランバーン)	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX 着色 PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	校長室	鋼製床組	コンバネ合板厚12(2重貼り) タイルカーペット厚6.5 (BCFナイロン同等品)	0	木製 着色 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	有孔檜合板厚9 目スカシ PUL3 (マド下) 石膏ボード厚12.5 ビニールクロス (SINCOL BEST1000同等品)		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚12 ボーダー厚9(トランバーン)	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX 着色 PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	職員室	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	有孔檜合板厚9 目スカシ PUL3 (マド下) 石膏ボード厚12.5 ビニールクロス (SINCOL BEST1000同等品)		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9 (トランバーン)	塩ビ	3,020		○	○	カーテンBOX PUL 棚 備品等(別紙備品リストに依る)	
	書庫	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	檜合板厚9 PUL3 目スカシ		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	3,020		○	○	棚 備品(別紙備品リストに依る)	
	湯沸室(2)	鋼製床組	コンバネ合板厚12 カバ フローリング厚15 PUL3	0	木製 OP2	75	木胴縁 LGS-W90	ラウン合板厚4.0 グラサル厚5.0 目地シーリング 流し台上 ステンレス 立上り 水切共 流し台裏 ケイカル板厚6	不燃材 11091号	LGS-C	ケイ酸カルシウム板厚6 目スカシ VP2	塩ビ	2,400	不燃材 1061号	○	○	流し台 コンロ台 ガスコンロ台 吊り棚 水切棚 備品(別紙備品リストに依る) 水切 ステンレス 流し台 ケイ酸カルシウム板貼り	

略式記号凡例																	
OP	合成樹脂調合ペイント																

## 内部仕上表(2)

階	室名	床			巾木		壁			天井				床改め口	天井改め口	備考	
		下地材	仕上材	床高	仕上材	高さ	下地材	仕上材	防火番号	下地材	仕上材	廻り縁	天井高	防火番号			
1	普通教室(特別支援)	鋼製床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	楕合板厚9 PUL2 目スカシ		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	3.020		○	○	棚備品等(別紙備品リストに依る)
	男子更衣室 女子更衣室	鋼製床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 OP2	75	木胴縁 LGS-W90.65	石膏ボード厚12.5 ビニールクロス (SINCOL BEST1000同等品)		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	2.500		○	○	カーテンBOX OP2 備品等(別紙備品リストに依る)
	男子休憩室 女子休憩室	鋼製床組	コンパネ合板厚12 タタミ敷厚60	+150			木胴縁 LGS-W90.65	石膏ボード厚12.5 ビニールクロス (SINCOL BEST1000同等品)		LGS-C	石膏ボード厚9.5 目スカシ(巾450) ビニールクロス	塩ビ	2.400		○	○	カーテン、カーテンレール 備品(別紙備品リストに依る)
	職員男子便所 職員女子便所	鋼製床組 CON金ゴテ塗膜防水 (MTレックス同等品) 押工CON モルタル塗り	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3 50角磁器質タイル (INAX アコルディM同等品)	-50	木製 OP2 50角磁器質タイル貼	75 200	木胴縁 LGS-W90.65	小便器前 グラサル厚5.0 ラワン合板厚5.5 ポリ合板 目スカシ 目地シーリング		LGS-C	ケイ酸カルシウム板厚6 目スカシ VP	塩ビ	2.550		○	○	化粧洗面カウンター ライニング用板(TOTO マーブライト同等品) 化粧鏡 ステンレス枠付 等備品
	印刷室	鋼製床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	楕合板厚9 PUL3 目スカシ 一部有孔 楕合板厚9 PUL3 目スカシ		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	3.020		○	○	棚備品等(別紙備品リストに依る) カーテンBOX PUL
	放送室 スタジオ	鋼製床組	コンパネ合板厚12(2重貼り) タイルカーペット	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	有孔楕合板厚9 PUL2 グラスウールガラスクロス24K 有孔楕合板厚6 +特殊インソレーティングボード PUL3 目スカシ(大建 防音パネル厚18 シナ同等品) グラスウールマット厚100 24K 印刷室側		LGS-C	有孔化粧石膏ボード厚9.5 グラスウールマット厚50 24K	塩ビ	3.020		○	○	棚備品等(別紙備品リストに依る) カーテンBOX PUL
	マルチルーム (多目的)	鋼製床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	LGS-W90	楕合板厚9 PUL3 目スカシ 楕合板厚9 PUL3 揭示板用ビニールクロス		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	2.500		○	○	カーテンBOX PUL 棚備品等(別紙備品リストに依る)
	多目的ホール	鋼製床組	断熱材厚30(FP板)コンパネ合板厚12 床暖バネル厚12(設備工事アジャスターバネル ラワン合板厚15 床暖用フローリング厚12 (カバ塗装品 テオル笠原同等品)	0	木製 PUL2	75	木胴縁	ベニア合板厚9 二次面化粧材 化粧羽目板厚12(大建タモ同等品) 楕ベニア合板厚9 PUL 目スカシ		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚12 石膏ボード厚9.5 ビニールクロス	塩ビ	2.900 3.160 3.300		○	○	
	配膳室	鋼製床組	コンパネ合板厚12(2重貼り) タイルカーペット	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90.65	石綿ケイカル板厚8 VP 目スカシ		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	2.400		○	○	棚備品等(別紙備品リストに依る) EV
	搬入口		モルタル金ゴテ 防ジン				コンクリート打放し (弹性タイル吹付)	コンクリート打放し	吹付材(弹性タイル 外壁同材)		LGS-C	羽目板化粧合板厚9 PUL3		3.020		○	○
2	機械室		コンクリート金ゴテ 防ジン塗装 (段型モルタル金ゴテ ノンスリップタイル)	0			コンクリート打放し (弹性タイル吹付)	コンクリート打放し	グラスウールボード厚25 ガラスクロスビン止め			グラスウールボード厚25 ガラスクロスビン止め					
	電気室		コンクリート金ゴテ 防ジン塗装 (段型モルタル金ゴテ ノンスリップタイル)	-900	コンクリート打放し (弹性タイル吹付)		コンクリート打放し	グラスウールボード厚25 ガラスクロスビン止め			グラスウールボード厚25 ガラスクロスビン止め						
	湯沸室(1)	鋼製床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 OP2	75	木胴縁 LGS-W90	ラワン合板厚4.0 グラサル厚5.0 目地シーリング	不燃材 11091号	LGS-C	ケイ酸カルシウム板厚6 目スカシ VP2	塩ビ	2.500	準不燃材 2026号	○	○	流し台 コンロ台 ガスコンロ台 吊り戸棚(別紙備品リストに依る) 水切 ステンレス厚0.4
	技能職員室	鋼製床組	コンパネ合板厚12 タタミ敷厚60	+150	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	石膏ボード厚12.5 ビニールクロス		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(木目調)	木製	2.400		○	○	押入
	用具入	鋼製床組	コンパネ合板厚12(2重貼り) 塩ビシート厚2.5	0	木製 OP2	75	木胴縁 LGS-W90	ケイ酸カルシウム板厚6 VP		LGS-C	ケイ酸カルシウム板厚6 VP				○		ステンレスパイプ25φ S管付
	倉庫		CON金ゴテ	-60				コンクリート打放し			コンクリート打放し						
	コンピュータ室 準備室	鋼製床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL3		木胴縁	楕合板厚9 PUL3 目スカシ		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	3.020		○	○	カーテンBOX PUL 棚備品等(別紙備品リストに依る)
	第1・第2 理科室	木床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 OP3	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	有孔楕合板厚9 目スカシ PUL3(マド下) ラワン合板厚4.0 グラサル厚5.0 目地シーリング 楕合板厚9 揭示板用ビニールクロス(暗線入)	不燃材 11091号	LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9	塩ビ	3.020	準不燃材 2026号	○		カーテンBOX OP2 窓手摺集成材50φ 棚備品等(別紙備品リストに依る)
	理科準備室	木床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	ラワン合板厚9.0 グラサル厚5.0 ラワン合板厚4.0 グラサル厚5.0 目地シーリング	不燃材 11091号	LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	3.020		○		カーテンBOX PUL 窓手摺集成材50φ 棚備品等(別紙備品リストに依る)
	調理室	木床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 OP2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	有孔楕合板厚9 目スカシ PUL3(マド下) ラワン合板厚9.0 グラサル厚5.0 ラワン合板厚4.0 グラサル厚5.0 目地シーリング 楕合板厚9 揭示板用ビニールクロス(暗線入)	不燃材 11091号	LGS-C	石膏ボード厚9 ロックウール吸音板厚9	塩ビ	3.020	準不燃材 2026号	○		カーテンBOX OP2 棚備品等(別紙備品リストに依る)
	調理準備室	木床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	石綿ケイカル板厚8 目スカシ VP 石綿ケイカル板厚6 目スカシ VP		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	3.020		○		カーテンBOX PUL 窓手摺集成材50φ 棚備品等(別紙備品リストに依る)
2	普通教室(特6・7) 視聴覚準備室	木床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	有孔楕合板厚9 PUL2 有孔楕合板厚5.5 PUL2		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9	塩ビ	3.020		○		カーテンBOX PUL 窓手摺集成材50φ 棚備品等(別紙備品リストに依る)
	図書室	木床組	断熱材厚30(FP板)コンパネ合板厚12 床暖バネル厚12(設備工事アジャスターバネル ラワン合板厚15 床暖用フローリング厚12 (カバ塗装品 テオル笠原同等品)	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	楕合板厚9 ビニールクロス 一部掲示板 (SINCOL BEST1000同等品)		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9	塩ビ	3.020		○		カーテンBOX PUL 窓手摺集成材50φ 棚備品等(別紙備品リストに依る)
	普通教室(特5)	木床組	断熱材厚30(FP板)コンパネ合板厚12 床暖バネル厚12(設備工事アジャスターバネル ラワン合板厚15 床暖用フローリング厚12 (カバ塗装品 テオル笠原同等品)	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90 PB厚12.5(2重貼)両面	有孔楕合板厚9 目スカシ PUL3(マド下) 楕合板厚9 揭示板用ビニールクロス(暗線入) 楕合板厚5.5 PUL3 目スカシ		LGS-C	石膏ボード厚9.5 ロックウール吸音板厚9	塩ビ	3.020		○		カーテンBOX PUL 窓手摺集成材50φ 棚備品等(別紙備品リストに依る) 可動間仕切別紙備品リストに依る 下り壁 ラワンベニア厚9 グラサル厚5 両面 枠 OP2 H=500(位置打合せ要)
	清掃用具入	木床組	コンパネ合板厚12(2重貼り) 長尺塩ビシート厚2.0	0	木製 OP	75	木胴縁	ケイ酸カルシウム板厚6 VP		LGS-C	ケイ酸カルシウム板厚6 VP	塩ビ	2.500		○		ステンレスパイプ25φ S管付(別紙備品リストに依る)
	倉庫	木床組	コンパネ合板厚12(2重貼り) 長尺塩ビシート厚2.0	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90	楕合板厚9 PUL2 目スカシ		LGS-C	化粧石膏ボード厚9.5(マーブルトーン同等品)	塩ビ	2.500		○		
	手洗室 (3階共)	木床組	コンパネ合板厚12 カバフローリング厚15 PUL3	0	木製 PUL2	75	木胴縁 LGS-W90.65	ラワン合板厚5.5 ポリ合板厚4.0 目地 シーリング		LGS-C	ケイ酸カルシウム板厚6 目スカシ VP2	塩ビ	2.400		○		流し鏡等備品(別紙備品リストに依る)

略式記号凡例

OP	合成樹脂調合ペイント	FP	フタル酸樹脂エナメル	DSCL	着色ラッカーペイント
VP	塩化ビニール樹脂エナメル	GP	グラファイトAC	PUL	ポリウレタン樹脂
EP	酢ビ系エマルション	OL	クリヤーラッカーペイント		
EP/A	アクリル系エマルション	OS	オイルステン		

## 略式記号凡例

塗装	OP	合成樹脂調合ペイント	FP	フタル酸樹脂エナメル	DSCL	着色ラッカー
	VP	塩化ビニル樹脂エナメル	GP	グラファイトAC	PUL	ポリウレタン樹脂
	EP	酢ビ系エマルション	CL	クリヤラッカー		
	EP/A	アクリル系エマルション	OS	オイルステン		

材 料	PB JPB FB FP	石膏ボード ジョイント石膏ボード フレキシブルボード 発泡ポリスチレン板	CB LGS-W LGS-C W	コンクリートブロック 軽鉄間仕切 軽鉄天井 木間仕切
--------	-----------------------	---	---------------------------	-------------------------------------

不燃第1001号	石綿セメント板	不燃第1061号	石綿ケイ酸カルシウム板	壁装材料第0002号	織物壁紙
不燃第1002号	化粧石綿セメント板	準不燃第2015号	石膏ボード厚9	壁装材料第0003号	ビニール壁紙
不燃第1003号	石膏ボード厚12	準不燃第2016号	化粧石膏ボード厚9		
不燃第1021号	岩綿吸音板厚9~	準不燃第2019号	吸音用穴あき石膏ボード厚9		

基材	防火1級	防火2級	防火3級	防火4級
法定不燃材	不燃	準不燃	不燃	準不燃
法定準不燃材	準不燃	準不燃	難燃	難燃

ITO designs 合同会社

一級建築士事務所 山形県知事登録(1206)第2108号  
山形県鶴岡市加茂字坂ノ下194番地  
TEL:0235-35-0192 FAX:0235-35-0193  
管理建築士 一級建築士登録 第275236号 伊藤 薫

代表となる設計者  
一級建築士 第275236号 一級建築士  
伊藤 薫

74603号 建築設備士第238A-0011RE号  
五十嵐 圭

設計者  
工事名 鶴岡市立鶴岡第五中学校校舎棟第1期大規模改修工事  
図面名 【既存・撤去】 内部仕上表 (3) 縮尺 A1 = non  
A3 = non

設計番号	図面番号
	A - 1
日付	No.
2025/10/10	

